第６回　福知山市新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会

会　議　録【概要版】

【日　時】 令和５年２月21日（火）14:00~16:00
【場　所】 福知山市厚生会館　中会場
【出席者】 (委　員) 13名
(事務局) 地域振興部　大西部長
文化・スポーツ振興課　森田次長　西村担当課長　西村課長補佐
増田主事　阪本主事
シアターワークショップ　佐藤、真木、石井（オンライン）
(関係課) 建築住宅課 中川次長
都市・交通課 芦田担当課長

1　開　会
2　開会挨拶
3　協議事項
（１）前回委員会のまとめと質問事項の確認
（２）ヒアリングの報告
（３）施設機能の検討
（４）建設候補地の検討
4　その他
5　閉会

【議事】

（1）前回委員会のまとめと質問事項の確認

〇事務局より説明

（2）ヒアリングの報告

〇事務局より説明

委員　：大学生の参加者が６人というのは少ないのではないか。

事務局　：ヒアリングを実施した時期の関係もある。学内のサークル活動を行っている人を対象にしていたため、想定よりも少なかったが、それぞれのサークルの代表者にきてもらっている。

委員　：大学・高校ともに演劇部や劇団がないのか。

委員　：厚生会館で福知山高校と附属中学の文化芸術展が行われていた。吹奏楽部と演

劇部の発表があった。演劇部は 7 人くらい。3 月にもハピネスで公演をやるという。福知山高校以外に市民サークルで「わっぽ」という団体がある。

委員　：大学生の演劇部について、要望はあるものの、設立されたかは把握していない。定期的な公演を行った実績はない。

（3）施設機能の検討

〇事務局より説明

委員長　：17 ページの舞台及び舞台裏について、「舞台袖は本舞台と同等の大きさを確保する」とあるが、これは広さではないか。

事務局　：「広さ」に修正を行う。

委員長　：創作室の「デジタル創作機器」はどんなことをイメージしているのか。映像を編集するということか。

事務局　：現状の想定では、一般的なプロジェクター等を想定している。デジタル機器も時期に合わせて導入を検討する。

委員長　：プロジェクターは当然使用するものと思う。「創作」とあるので、ものづくりを行うために、自宅ではできないような性能の高い映像の編集ができるということではないか。会議室にある設備とは違うように思えてしまうので、内容に合った表記にしてほしい。

委員　：14 ページ、ホールの形式について、「固定席または平土間」とあるが、前回の委員会での意見の通り、固定席の方針で良いか。

委員長　：合意しているということで良かったと思う。

委員　：今後、ホールの機能や関連諸室について具体策、具体案をどのように提案して作っていくのかを伺いたい。

事務局　：具体案は、この次に策定する基本計画の中で簡単な図面を提示する予定。基本設計、実施設計で全体像が出る。

委員長　：基本計画では、全体の面積、ホール、客席の広さを提示する程度で、全体の図面は提示できないのではないか。基本計画をもとに設計者を選定し、案を市民の皆さんに提示してご意見をいただき、基本設計や実施設計の段階で意見聴取を行うのが一般的な流れ。具体的な平面図やパースは設計者を決めるまでは、ないものとご理解いただきたい。

（4）建設候補地の検討

〇事務局より説明

委員　：予算規模が分からない中で軽々しく意見を言えない。市として候補地の優劣はあ

るのか。概算でも予算規模を知りたい。△の課題がどの程度のハードルの高さなのか。

事務局　：6つの候補地の優劣について、現状はない。横ならびでの検討を行っていただきたい。予算規模は、場所も規模も固まらない中で公表できる段階ではない。△の評価でも今後の状況によって、課題をクリアしやすいところ、時間がかかるものもある。今後、2か所か3か所に絞り込んでいただき、さらに詳細を検討していければと思う。

委員　　：同じ△でも、難易度の段階を区分けしてもらいたい。

事務局　：提示の仕方を検討する。

委員長　：建物の整備費はどの敷地でもそこまで大きくは変わらないと思う。事業全体で決まる。建物をつくるために道路や敷地を整備する、建物を壊す等があればお金がかかる。厚生会館以外の敷地に建てたとしても、厚生会館を解体する費用はかかるものと理解している。どこに建てるとしても現施設の解体費用と整備費がかかる。全体の面積が変わらないのであれば、ホール席数が変動したとしても諸室構成が変わるだけ。延床面積が増えれば、その分整備費が増える。

委員　　：補助金について、敷地によってどれくらい変動するか、今は分からないのか。

事務局　：補助金は、立地適正化計画で上限額が決まっている。その半分は見込まれる。現状は事業費が計算できないため、具体的にはまだ言えない。

委員　　：駅北口公園の補助金の返還とあるが。

事務局　：公園整備に1億2000万の事業費なので、経過年数等で算出することになる。

委員　　：この場で予算を議論することは無理である。まずは場所を決めて見合うものを作ることを考えていくのではないか。財源はあとから出てくるもの。地方債の起債も考えられる。まずはこの条件でどこが最も適切な場所であるかを選ぶしかないのではないか。

三段池は、現状では劇場建設ができないとあるが、今回提示されている敷地は、何かしらの対応を行えばどこでも建てられるということか。

事務局　：三段池は都市公園にあたり、条例では劇場は建築要件に入っていない。まずはそれをクリアする必要が出てくる。協議に時間を要する。

委員　　：福知山市の条例改正が必要になるということ。

この中でどれが一番適当かということを、この検討委員会で決めろということか。

事務局　：できるだけ絞り込んでいただきたい。基本計画の策定はあくまで市がするものであり、最終的には検討委員会の議論を踏まえて市で決定していく。

委員　　：候補地は検討委員では中々絞りにくいと思うので、①から③、④から⑥で絞り込

んで検討する材料にすればどうか。

委員　　：敷地が広いところは良いが、狭いところでも現在のプランは実現可能なのか。①市民交流プラザ、②駅北口公園、③厚生会館用地は床を上げる必要があるが、搬入は大丈夫なのか。面積は減ってしまわないか。

事務局　：場所によって制約はあるが、実現可能なものと考えている。

委員長　：都市計画決定された場所では、時間がかかる。それも含めて検討が必要。コストは、1㎡あたり100万程度。一般の住宅と比較すると3倍程度はかかる。容積が大きいため。設備も費用がかかる。また、今の時代は建設コストの変動が大きく、想定が難しい。

委員　　：基本構想の31ページ、建設敷地選定の観点についてポイントがあがっている。時間経過や財源について、点数化して内容を説明していただいた方が決めやすいのではないか。

委員長　：意見として分かるが、根拠をもって示すのは中々難しいと思う。項目によって難しさの度合いが違うと思う。日常的にみんなが行きやすい場所とするならば、遠い場所は評価できないことになる。浸水の問題を重視するならば、そういった場所は評価が低くなる。

委員　　：1㎡あたり100万とあったが、コロナ禍で1㎡あたり150万くらいになっている。予算の話よりも、まずそこでどんな風に過ごしたいかで検討を行う。
どこにできるかによって人の動きが大きく変わる。市民交流プラザには多くの中高生が集まって利用している。自転車で行ける距離に安心して過ごせる文化的な施設があることが重要。④～⑥は自転車で行くには難しい。次世代を担う若者が集まる場所にしたいのならば、④～⑥は選択肢にない。厚生会館のこの場所は駐車場が無いとか言われるが、これが駅北に行くとまた人の流れが変わる。この厚生会館は歩いて駅から行ける距離にあり、その中で色んな商店街を通る。これまで福知山市が商店街を整備してきた中で、経済的な恩恵があるということを考えると、①②③のどこかだと思う。なぜこの場所なのかということを、文化的交流が生まれることで人の生活がどう変わるかを色々想像しながら考えて選んでほしい。

委員　　：高校生ヒアリングでもあったように、高校生が集まりやすい場所という観点がとても重要。

委員　　：厚生会館用地は駐車場の問題を一番懸念している。三段池は距離が遠い問題がある。

委員　　：自分のまわりでは三段池が良いという意見が多かった。現地の不満は駐車場、浸水の問題があること。駐車場の台数はどのような考え方で掲載しているのか

知りたい。浸水の問題について、床をあげたとして、建物内に浸水した場合、防災機能はあると考えて良いのか。

事務局　：駐車場の台数については、全体数を記載している。浸水時は、①～③は浸水の想定区域となっており、1000 年に 1 回の浸水想定は 7.5mだが、そこまで上げるのは難しい。2 階 3 階には避難できるようにする。一時避難所としては有効と考えている。

委員長　：電気室や機械室が浸水すると復旧に時間がかかる。グランドレベルは駐車場だけにするか、すぐに復旧できる部屋をおく。

駐車場の話をすると、松本の市民芸術館では、来館者用の駐車場をつくらなかった。敷地は駅から 15 分の場所。もともと駐車場がない施設で、終わった後にまちを歩いてもらうことが大事であるという考え方でつくってもらった。市全体で駐車場をどう整備するかを検討した。まちのどこに駐車場があいているかが分かるシステムを構築した。

浸水するから建設できないという考え方もあるが、敷地の周りに住んでいる方もいる。一時避難所として滞在できる場所が必要ではないか。

委員　　：京都芸術大学にある劇場で運営を行っている。京都駅からバスで 50 分かかるため、集客に苦労する。駐車場もない。それでも公演を観たいと思ってくれる方は来てくれる。④～⑥は厳しいと感じる。駐車場はなかったら何らかの対応を行うので、考えなくても良いのではないか。

委員　　：ホール周辺が目的地になれるかということが重要ではないか。三段池は、ゴールデンウィークにトップクラスの人出がある。目的地になれる要素がある。

委員長　：まちの中に建てた場合、交流機能が実現しやすい。

委員　　：他の場所でも実現が可能なのかもう少し議論したい。基本構想で話し合ってきたことを踏まえた表をつくっていただき、それをもとに話し合いたい。

委員長　：現状提示されている「基本構想における評価項目」は物理的な内容である。主機能と照らし合わせた表を作ってほしい。

事務局　：市民の意見をアンケート、ヒアリング、パブコメ等を実施して聴取してきた。その際、敷地への意見は厚生会館の跡地、三段池がほとんどだった。そういったことも含めて資料作成を行う。

委員長　：こういう観点で比較してほしいという意見はあるか。施設をどこに建てるかは非常に重要。慎重に議論を行いたい。反対意見があるから決められないということにもできない。最終的には市が判断を行う。そのために参考になる意見を求められている。様々な意見を頂戴したい。

最終的に委員会の意見と異なる選択になったとしても、市が委員会の意見をもとに判断を行ったものであり、決定を受け入れて今後の計画に協力してほしい。

委員　　：建て替え期間中ホールがなくなってしまう期間があるかどうかについて言及はなかった。市街地につくるか、郊外につくるかという議論になる。場所によってどういう事業をやるかにかかわってくる。市街地の方が良い点、郊外の方が良い点がそれぞれあり、実際の選択肢は市街地か郊外の2つ。

4　その他

次回検討委員会：令和5年3月28日（火）午後14:00～午後16:00

場所　　　　　：福知山市厚生会館中会場

事務局　：検討委員会の開催については、当初の第1回検討委員会において全7回と提案していたが、重要事項が残っているため、来年度も引き続き検討をお願いしたい。スケジュールは次回3月に提示する。

5　閉会

以上